

令和6年度 柏崎小学校グランドデザイン



<当校の教育課題>

- ・自己有用感と夢や目標をもてる子どもの育成
- ・学力の向上・いじめ問題の解消
- ・不登校傾向児童への丁寧な対応
- ・規範意識、基本的生活習慣の定着

<経営方針のキーワード>

- 土台・根っこに「特別支援の充実」「人権教育、同和教育の推進」を据える
- 子どもの幸福感を高める
- 職員チームとして支え合う
- 家庭・地域・中学校と協働する
- 居心地のよい教育環境づくりに努める

教育目標

しんの強い しっかりした子ども

重点目標

「ゆめときぼう たのしくむねをはれる学校」

- 地域との連携
- 家庭との連携
- 幼稚園・保育園・第一中学校との連携
- 市教育センター、大学との連携
- 校内委員会等の充実
- 学校事務の共同実施



表す

確かな学力の育成

<育てたい資質・能力(評価)>

- 基礎的・基本的な知識・技能 (ワークテスト：期待平均点以上)
(学年確認テスト：学年平均90点以上)
- 学びをつなげ深く考える力 (いじがた学びチャレンジ、ワークテスト等：期待平均点以上)
(アンケート：肯定的評価8割以上)

具体的方途

- ◆「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりを進める。
- ◆「くぐりタイム・ミニマスタム・モーニングニュース・学年確認テスト」を活用し、基礎学力の向上、学習意欲の向上につなげる。
- ◆「個別最適な学び・協働的な学び」の実現を目指し、ICTを効果的に活用する。

思いやる

豊かな心をはぐくむ教育の推進

<育てたい資質・能力(評価)>

- 自分の居場所があり、人の役に立っているという意識 (QI調査・7割：満足8割以上)
- 「つながりアン」(相手のことを優しく思いやれる人)を実践する行動力 (アンケート：肯定的評価8割以上)

具体的方途

- ◆子どもたち一人一人のよさを生かした学級づくりを進め、QI調査等を参考に改善を図る。
- ◆児童会活動を中心に「柏小のまちづくり」に向けた、自治的・主体的な活動を促す。全校SSEの実施。
- ◆「思いやりレター」や「振り返り活動」を蓄積し、思いやり気持ちの言語化を繰り返す。

生きる

健やかな体をはぐくむ教育の推進

<育てたい資質・能力(評価)>

- 基本的な動きの習得、進んで運動に親しむ態度 (体力7割：期待平均点以上・7割：肯定的評価8割以上)
- よい生活習慣を身に付けようとする態度 (アンケート：肯定的評価8割以上)

具体的方途

- ◆運動遊びを奨励し、運動習慣の定着を図る。
- ◆「楽しい」「できた」と実感できる体育・保健学習を積み重ねる。
- ◆家庭と連携して、「メディアルール」を共有したり「小中健康週間」を行ったりして、生活習慣の向上を図る。

特別支援教育の充実

◎一人一人の教育的ニーズに応じた全校体制による指導・支援

- みんなが分かるできる授業づくり(学びのユニバーサルデザイン)
- 実態把握の充実と個別指導計画の活用
- 「すくすく相談」(保護者対象教育相談) 通年実施
- 支援をつなぐ幼児・中・関係機関との連携

人権教育、同和教育の推進

◎差別やいじめをしない、許さない、命を大切にできる態度の育成

- 「考え、議論する道徳」の推進、全校道徳の実施
- 副教材「生きる」シリーズ等を活用した授業づくり(学習参観)
- 学校いじめ防止基本方針の推進と見直し
- 職員の人権感覚を磨く校内・校外研修の充実

シーズン1 4・5月

春：『であい・ふれあい』

えがおであいさつしよう

シーズン2 6・7月

夏：『かかわりあい』

ふわふわことばのわをひろげよう

シーズン3 8～10月

夏～秋：『たかめあい』

きづき・かんがえ・じっこうしよう

シーズン4 11・12月

秋～冬：『ささえあい』

いじめみのがしゼロにとりくもう

シーズン5 1～3月

冬：『みとめあい』

かんしゃのきもちをつたえよう

1 今年度の重点目標

「ゆめときぼう たのしくむねをはれる学校」

相手への思いやりの心を大切に、夢と希望を胸に抱きながら、楽しい学校を目指します。

2 3つの教育活動

「特別支援教育の充実」「人権教育、同和教育の推進」を土台とし、教育活動を行っていきます。

① 「表す」…確かな学力の育成

「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりの推進、基礎学力、学習意欲の向上を目指した取組、ICT(情報通信技術)を活用し「個別最適な学び」と「協働的な学び」に応じた指導をします。

② 「思いやる」…豊かな心をはぐくむ教育の推進

あいさつ運動など「柏小のまちづくり」を意識づけた自治的な活動の工夫、「つながりアン宣言」「思いやりレター」を活用した活動の積み重ねを推進し、人とのかかわる体験の充実を図ります。

③ 「生きる」…健やかな体をはぐくむ教育の推進

進んで運動に親しむ態度、自他の命を守る視点から安全、防災教育の取組、「メディアルール」など、家庭と連携して児童の生活習慣の向上を図ります。

3 充実した一年のための5つのシーズンと目標設定

- ・シーズン1 (春) 【であい・ふれあい】 「えがおであいさつしよう」
- ・シーズン2 (夏) 【かかわりあい】 「ふわふわことばのわをひろげよう」
- ・シーズン3 (夏～秋) 【たかめあい】 「きづき・かんがえ・じっこうしよう」
- ・シーズン4 (秋～冬) 【ささえあい】 「いじめみのがしゼロにとりくもう」
- ・シーズン5 (冬) 【みとめあい】 「かんしゃのきもちをつたえよう」

4 家庭・地域との連携と校内指導体制の充実

- 地域との連携 ○家庭との連携 ○幼稚園・保育園・第一中学校との連携
- 教育センター、大学との連携 ○校内委員会等の充実 ○学校事務共同実施との連携。

5 今年度の特徴

- 子どもの命と人権を守り、学校が安心できる居場所となることを最優先にします。
- 児童も教職員もウェルビーイング(幸福)になるよう工夫します。
- 自分で考えて行動する力、これからの社会を生き抜く力を子どもに育てていきます。
- ルールとリレーションを重視し、秩序ある学級や集団をつくりまします。

グランドデザインは、こちらからも見られます。

